

藤沢第一地区 施設配置（案）

藤沢小学校

- ・藤沢小学校を活用
- ・複合施設として整備

藤沢学童保育室

- ・藤沢小学校の整備に合わせて複合化

藤沢地区体育館

- ・機能維持、長寿命化

（藤の台公民館）

- ・藤沢公民館へ統合
- ・施設は地域の拠点として活用を検討

健康福祉センター

- ・機能維持、長寿命化



藤沢北学童保育室

- ・藤沢小学校の整備に合わせて複合化
- ・施設は廃止

藤沢北小学校

- ・藤沢小学校へ統合
- ・施設は廃止
- ・跡地利用を検討

藤沢中学校

- ・藤沢中学校を活用

藤沢第二保育所

- ・藤沢第二保育所を活用

藤沢公民館・支所・図書館

- ・藤沢公民館・支所を活用して地区センター化
- ・図書館機能は学校への複合化を検討

老人憩いの家

- ・利用状況を踏まえ現状維持、譲渡や除却も検討

施設名	整備パターン（案）
藤沢公民館・支所・図書館	・藤沢公民館・支所を活用して地区センター化。 ・図書館機能は学校に複合化を検討。
藤の台公民館	・藤沢公民館へ統合。施設は地域の拠点として活用を検討。
藤沢小学校	・藤沢小学校を活用。複合施設として整備。
藤沢北小学校	・藤沢小学校へ統合。施設は廃止。跡地利用を検討。
藤沢学童保育室	・2つの学童保育室を1つに統合。
藤沢北学童保育室	・藤沢小学校の整備に合わせて藤沢小学校に複合化。
藤沢中学校	・藤沢中学校を活用。
藤沢第二保育所	・藤沢第二保育所を活用。将来は民間保育園の状況も踏まえ整備を検討。
藤沢地区体育館	・機能維持、長寿命化。
老人憩いの家（5か所）	・利用状況を踏まえ現状維持、自治会への譲渡や除却を検討。
健康福祉センター	・機能維持、長寿命化。

【地区懇談会での意見】

〔地域に関すること〕

- ・藤沢地区はあえて2地区に分けず、公共施設の配置を考えても良いのではないかと。
- ・地区内は様々な公共施設や店舗がある。こうした生活圏をつなぐ交通手段があると良い。
- ・公共施設のあり方として、コンビニエンスストアや駅など民間とコラボレーションするのはどうか。これらの施設は便利な場所に立地している。

〔施設に関すること〕

○地区センター

- ・他の自治体では、地域の拠点施設として自治振興センターを設置し、地域のワンストップ化を形成している。多種多様な情報交換ができ、地域の活性化につながっているようだ。

○小学校・学童保育室・中学校

- ・小学校、中学校とも老朽化が進んでいるため、修繕や建替えを計画的に行う必要がある。
- ・藤沢地区は通学区が入り組んでいるため、施設の再編成に合わせ学区も見直す必要がある。
- ・小中一貫教育は良い取り組みである。この効果を引き出せるように配慮して、施設の再配置を進めて行くことが大切である。
- ・教育環境や水準を考えると、統合が良いのかどうかメリット、デメリットを良く検討する必要がある。

○保育所

- ・保育所を統合するのであれば、武蔵藤沢駅前に移転してはどうか。

○老人憩いの家

- ・今後の高齢化の進展を考えると、市内に100～200mの間隔で高齢者の立ち寄れる場所を配置する必要があるのではないかと。